

新型コロナウイルス感染症対策特集

～オミクロン株の現状は？～

海外トピックス【臨時版】

VOL. 23

- オミクロン株により、再び世界中で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症。特長ある対策を実施している国や駐在員事務所のある国・地域を中心に、各国・地域の「今」をお伝えする「海外トピックス」臨時版です。
- 日本でもオミクロン株の感染が急拡大している今、世界はどうなっているのか？本県が駐在員を派遣している中国、韓国、台湾、シンガポールのオミクロン株の現状やワクチン接種の状況、政府の対策など、各国・地域における新型コロナウイルス感染症の「今」をお伝えします。今後も、各駐在員事務所から情報が届き次第、随時発行してまいります。

中	国	国内感染者ゼロを目指す「ゼロコロナ施策」が徹底			
韓	国	圧倒的優勢種はデルタ株 オミクロン株の急拡大は1月末か			
台	湾	水際対策、ワクチン接種の推進が功を奏し、消費行動は盛んに			
東	南	ア	ジ	ア	シンガポールでオミクロン株の感染者が急増 政府が新たな対策実施
海	外	全	般	本県の重点国・地域における新型コロナウイルス感染症の状況	

中国

国内感染者ゼロを目指す「ゼロコロナ施策」が徹底

中国駐在員事務所長 浅原 敏治

中国のオミクロン株の感染者数は1月6日現在8人（内訳：天津市1人、湖南省長沙市2人、広東省広州市2人、深圳市3人）で、最初の感染者が確認された昨年12月16日以降、さほど感染拡大は起きておらず、重症者と死者はいない。感染者は全て海外からの入国者で、入国後直ちに隔離され、市民との接触はなく、市中感染も起きていない。

中国では、株の種類を問わず、全ての新型コロナウイルスの国内感染者数をゼロにする「ゼロコロナ施策」が徹底されている。首都北京市では、市外からの入京者には48時間以内のPCR検査陰性証明の提示が求められ、また、1人でも市中感染者が発生した市の在住者や当該市を訪問した者は入京させない施策が取られている。私も1月中旬に北京に出張する予定で、事務所がある上海市で万一市中感染者が発生すると、入京できないことになるため、発生しないことを日々祈っており、市外への出張も必要最小限に留めている。なお、上海市では昨年12月17日以降、市中感染者の発生はない。

浙江省では寧波市の北仑（ベイロン）区で元日から1月5日までに市中感染者が31人生じている。この区は中心市街地から40kmほど東にあり、寧波港に近い。同区にある県内企業に伺ったところ、同区の一部への立入りが制限され、荷物の搬送など物流に影響が出ているとのことである。また、立入りが制限されている地区に居住する社員は在宅勤務となっており、いつ制限が解除されるのか見通しも立っていないとのことである。

韓国

圧倒的優勢種はデルタ株 オミクロン株の急拡大は1月末か

韓国駐在員事務所長 高橋 誠

韓国は昨年11月から「ウィズコロナ」政策に転換したが、その直後から新規感染者数が急増し、12月15日には過去最多の1日7,850人を記録した。感染者のほとんどはデルタ株である。毒性の強いデルタ株拡大の影響で重症者や死者が急増した。ある大手の日系現地法人は、11月から全面出勤としたが、12月以降は全員在宅勤務とした。本県を含む日本の自治体事務所の多くも一定の比率で在宅勤務を導入している。政府は12月18日から1月2日まで食堂などの営業時間を21時まで、私的な集まりも4人までに制限するなど再度規制を強化した。このため、ようやく感染者数は減少に転じている。

オミクロン株はデルタ株の新規感染者が急増するさなかの12月1日に初めて確認され、瞬く間に5次感染にまで広がるなど伝播力が心配されたが、韓国のオミクロン株感染者は1月3日時点（約1か月）で累計1,318人。1日平均38人程度である。この日の新規感染者数は3,129人であるから、平均値で計算すると1.2%程度になる。

感染者は全て軽症と伝えられていたが、つい最近、12月27日及び29日に光州広域市の療養病院で亡くなった90代の患者2人がオミクロン株であると判明。現在、重症者も1人いる。

韓国政府は、基本的に「ウィズコロナ」路線を継続している。このため、ワクチンパスポートを広範に導入、ブースター接種率向上に躍起になっており、既に4割ほどが接種済み。ワクチン未接種者が暮らしにくい社会になっているとも言える。「オミクロン株の本格的拡散に前もって備えるため、時間稼ぎが必要」（金富謙首相）とし、前述の防疫措置強化も1月16日まで延長された。専門家は「1月末から2月初旬くらいにはオミクロン株が優勢に転ずるかもしれない」と述べている。

台湾におけるオミクロン株の感染状況は、約 100 人の感染事例があるが、ほとんどが域外での感染とされている。域内感染者数について、1 月 6 日現在では 8 人であり、国際線の発着する桃園空港施設内で勤務する清掃員や防疫タクシー運転手、さらには防疫隔離ホテル内での感染とされている。

台湾では昨年 10 月以降、12 月中旬まではほぼ毎日、域内感染者数がゼロに抑えられ、状況は落ち着いている。警戒レベル（4 段階）は、台湾全土を対象として、一時期は厳しい方から 2 番目となる第 3 級であったが、昨年 7 月 26 日をもって一段階緩和され、幾度かの延長を経て現在まで第 2 級のままとまっている。規制の緩和は一気に級を下げるのではなく、感染状況を考慮しながら、同じ級のまま、個別具体的な項目について、少しずつ調整する方法に加え、海外からの入境を厳しく制限する水際対策、ワクチン接種の推進など、当局主導による対策が功を奏していると言える。

ワクチン接種率は 2 回接種が約 70%、1 回接種も約 80% となっており、駅・スーパー等でも予約なしで接種できるステーションを設置する等、引き続き接種率の向上に努めている。

旅行展などの大規模イベントも、防疫措置を取りつつ開催されており、日常生活では、マスク着用・手指消毒・検温・店舗利用時の実名登録などが定着し、域内旅行や外出などの消費行動も盛んなままである。

シンガポールでは、年が明けてから、オミクロン株の感染者が増加している。これまでデルタ株による感染状況は比較的制御されていたが、オミクロン株の感染者は増加傾向で、直近 1 週間で、海外で感染した輸入症例が 1,048 人、国内症例が 233 人と合計 1,281 人の感染者が確認されている。

オミクロン株は感染力が強いとされていることから、シンガポール政府は、近く、市中感染の波が到来すると警戒している。感染者の重症度は低いとされているが、今後更に感染者数が増えた場合、医療システムに大きな負担がかかるとして、1 月 5 日、新たな対応策を発表した。

症状の重症度や健康状態に応じた対策を新たに開始し、症状の軽い低リスク患者については、かかりつけ医等が医療機関が管理する抗原迅速検査（ART）により速やかに診断を行い、重症化リスクが低いとされた場合、最低 72 時間は自宅隔離を行い、体調が良ければ、自己検査による ART が陰性になった時点で自己隔離を終了し、通常の生活に戻ることができる。

ART で陽性の間は、自己隔離と自己検査を続け、症状が悪化した場合や、時間が経っても快方に向かわない場合は、再度、医師の診察を受けることとなる。感染者の濃厚接触者の特定は、接触者追跡アプリ（TraceTogether）や同一世帯員の申告等によって引き続き行っている。

また政府は、オミクロン株に対する予防効果を最大限に高めるため、ブースター接種を受けワクチンの効果が維持できるよう、国民に対して要請している。ワクチン接種完了から 6 か月後には予防効果が大幅に低下するとして、接種完了から 5 か月後頃にブースター接種を受けることを推奨し、270 日を過ぎないように呼び掛けている。

1 概況（1月2日現在）

国・地域	新規(直近1週間の合計)				累 計		ワクチン接種 完了率(%)
	感染者数	前週比(%)	死亡者数	前週比(%)	感染者数	死亡者数	
中 国	1,327	238	0	0	131,315	5,699	83.6
韓 国	37,879	99	476	151	620,938	5,382	83.0
モンゴル	627	75	4	67	388,190	1,981	65.0
台 湾	114	104	0	0	17,029	850	67.7
シンガポール	2,024	143	8	89	278,409	825	87.0
インドネシア	1,279	138	47	98	4,262,351	144,081	41.3
イ ン ド	50,405	155	2,267	156	34,808,886	480,592	43.7
アメリカ	1,646,613	156	10,913	119	52,543,602	812,577	61.5
日 本	2,034	218	8	267	1,732,369	18,389	78.3

○出典:感染者数及び死亡者数はWHO(台湾は、台湾衛生福利部)

ワクチン接種完了率はOur World in Data(複数回接種が終了した人数の割合)

※ゴシック太字:新規感染や死亡増加率が高い国・地域、ワクチン接種率が高い国・地域
※前週比(%)の欄は前週を100%として、比較した数字

2 人口360万人(静岡県人口規模)当たりでの比較

国・地域	新規(直近1週間の合計)		累 計	
	感染者数	死亡者数	感染者数	死亡者数
中 国	3	0	328	14
韓 国	2,660	33.4	43,601	378
モンゴル※	627	4	388,190	1,981
台 湾	17	0	2,574	128
シンガポール	1,246	4.9	171,329	508
インドネシア	17	0.6	56,099	1,896
イ ン ド	131	5.9	90,806	1,254
アメリカ	17,909	118.7	571,466	8,838
静 岡 県	21	0	26,904	209

※モンゴルの人口は静岡県を下回るため、実数を掲載した。

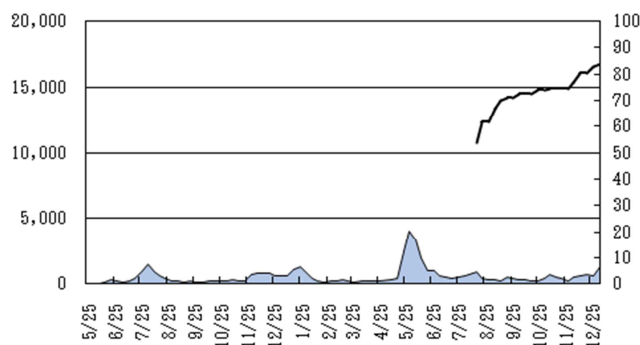
※新型変異株オミクロン株に対する水際措置の強化（令和3年11月30日午前0時開始）

- ・全世界からの外国人の新規入国停止（査証発給済者を含む）
- ・日本人を含む全ての入国者は、出国前72時間以内の検査証明書の提出が必要であり、入国時の検査後は検疫所長の指定場所での14日間の待機が必要

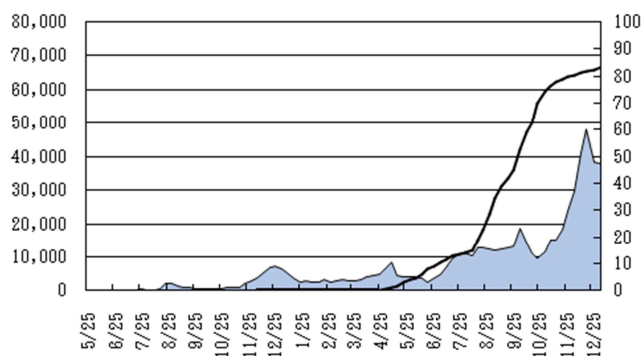
3 各国・地域の状況(グラフ)

・左軸(面グラフ):新規感染者数(直近1週間の合計) 右軸(折れ線グラフ):ワクチン接種完了率(%)

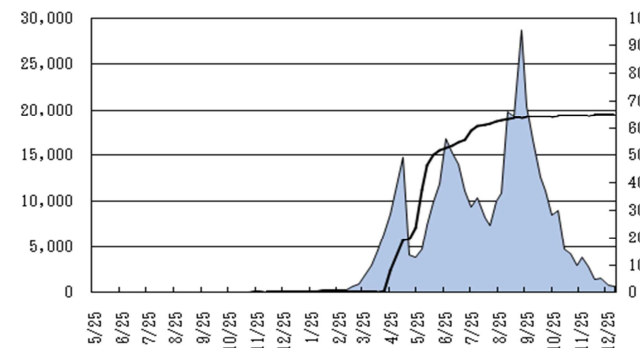
○中国



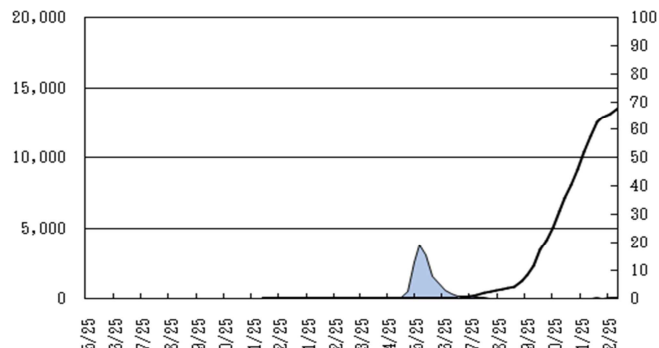
○韓国



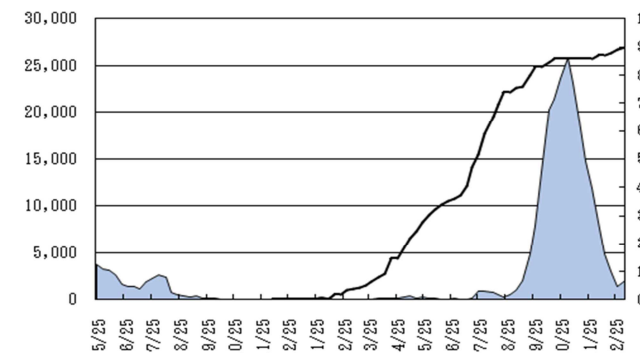
○モンゴル



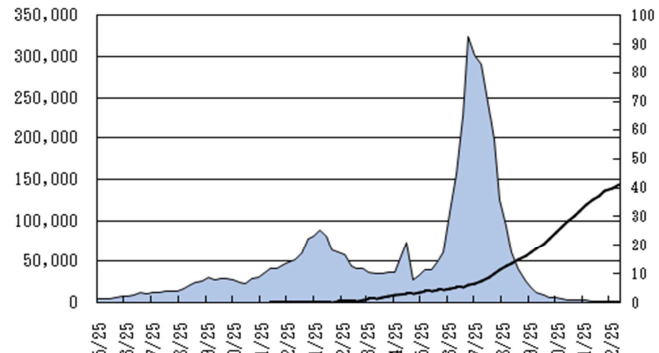
○台湾



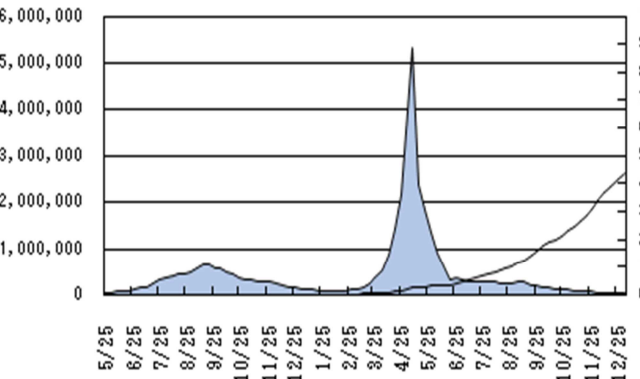
○シンガポール



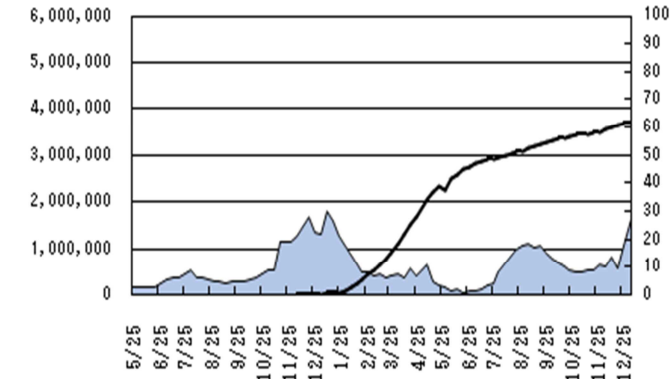
○インドネシア



○インド



○アメリカ



※中国のワクチン接種完了率に係る人口母数は接種可能な12歳以上を指す。